

北信越ブロッククラブネットワークアクション
2023

運動部活動改革についての情報共有
～長野県内の部活動移行における現状と課題～

桐蔭横浜大学名誉教授

吉田 勝光
(長野県総括コーディネーター)

内 容

- 1 総合型地域スポーツクラブとのかかわり
- 2 県総括コーディネーターの仕事
- 3 長野県の中学部活動の現状と課題
- 4 長野県の中学部活動の地域移行の現状
- 5 長野県の中学部活動の地域移行の課題
- 6 まとめに代えて

1 総合型地域スポーツクラブとのかかわり

- 大学の総合型SC(実現できず) 松本大学時代
 - 近隣の総合型に学生を派遣:ダンス、バドミントン、バスケットボール
 - アシスタントマネージャー資格を学生と一緒に取得
 - 松本大学・長野県体育センター・長野県総合型SC連絡協議会との三者連携協定締結/地域課題解決(総合型SC連協への年度末の御用聞き・対応)『スポーツ白書』に掲載。
 - 「クラブはたっこ」設立(顧問)
 - アシスタントマネージャー養成講習会講師
 - 長野県総合型地域スポーツクラブ認定審査委員長
- 〈希望〉県内の総合型地域SCが実施するウォーキングイベントに参加したい

2 県総括コーディネーターの仕事

【所属】 県教育委員会スポーツ課学校体育係

【職務内容】 スポーツ・文化芸術ともに

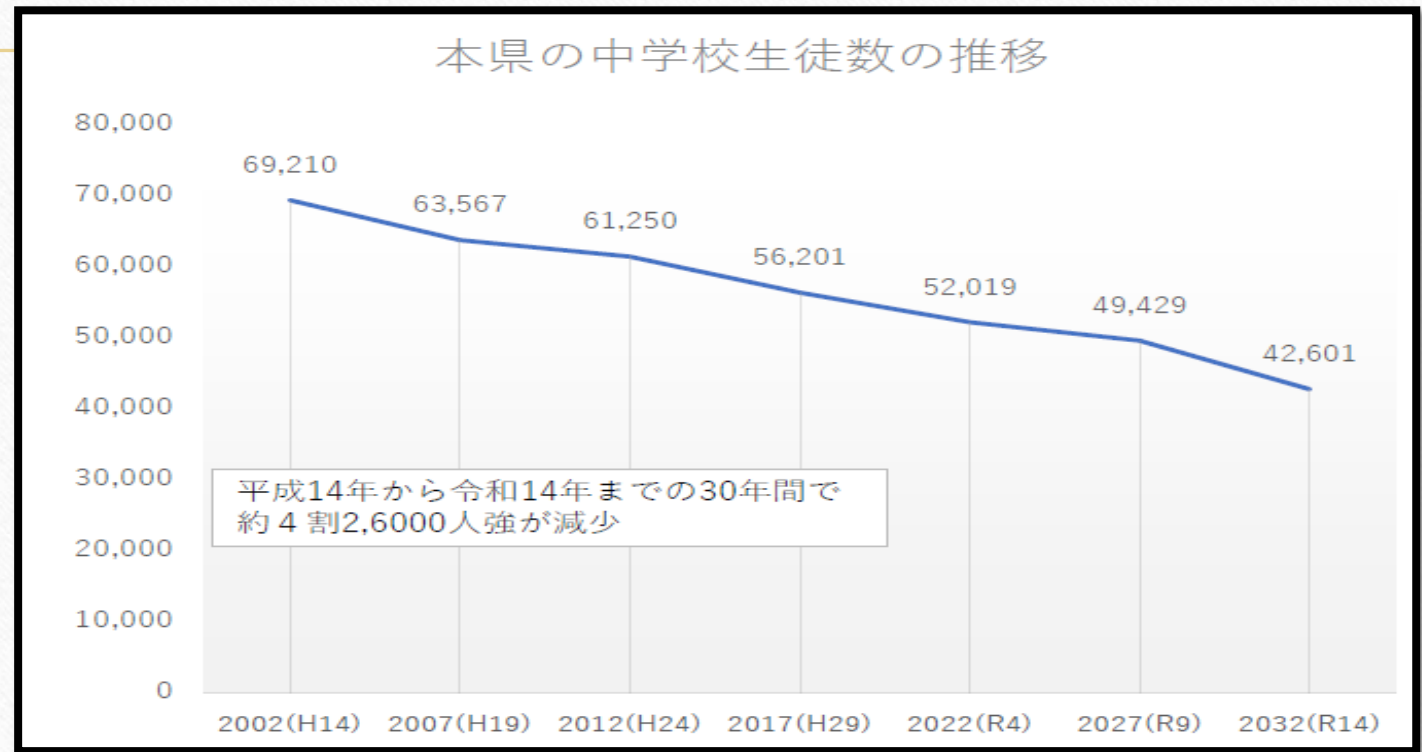
- 地域移行の進まない市町村へのサポート
- 地域移行に係る相談窓口
- 国及び市町村との連絡調整
- 市町村総括コーディネーター等を対象とした市町村担当者会(年2回程度)の開催
- 市町村コーディネーターとの連携・協働
- 実証事業実施市町村への対応
- 人材発掘を目的とした競技団体、スポーツ少年団、大学や企業等への働きかけ
- また、指導者や財源の確保を目的とした大学や企業との新たな連携体制の構築等です。

3 長野県の中学校部活動の現状と課題

長野県の中学校生徒数の推移

○右のグラフは本県の中学校生徒数の推移

○子どもの数が減少の一途をたどる



企画振興部総合政策課

令和4年(2022年)10月1日現在 長野県の年齢(各歳)別・男女別人口をもとに算出

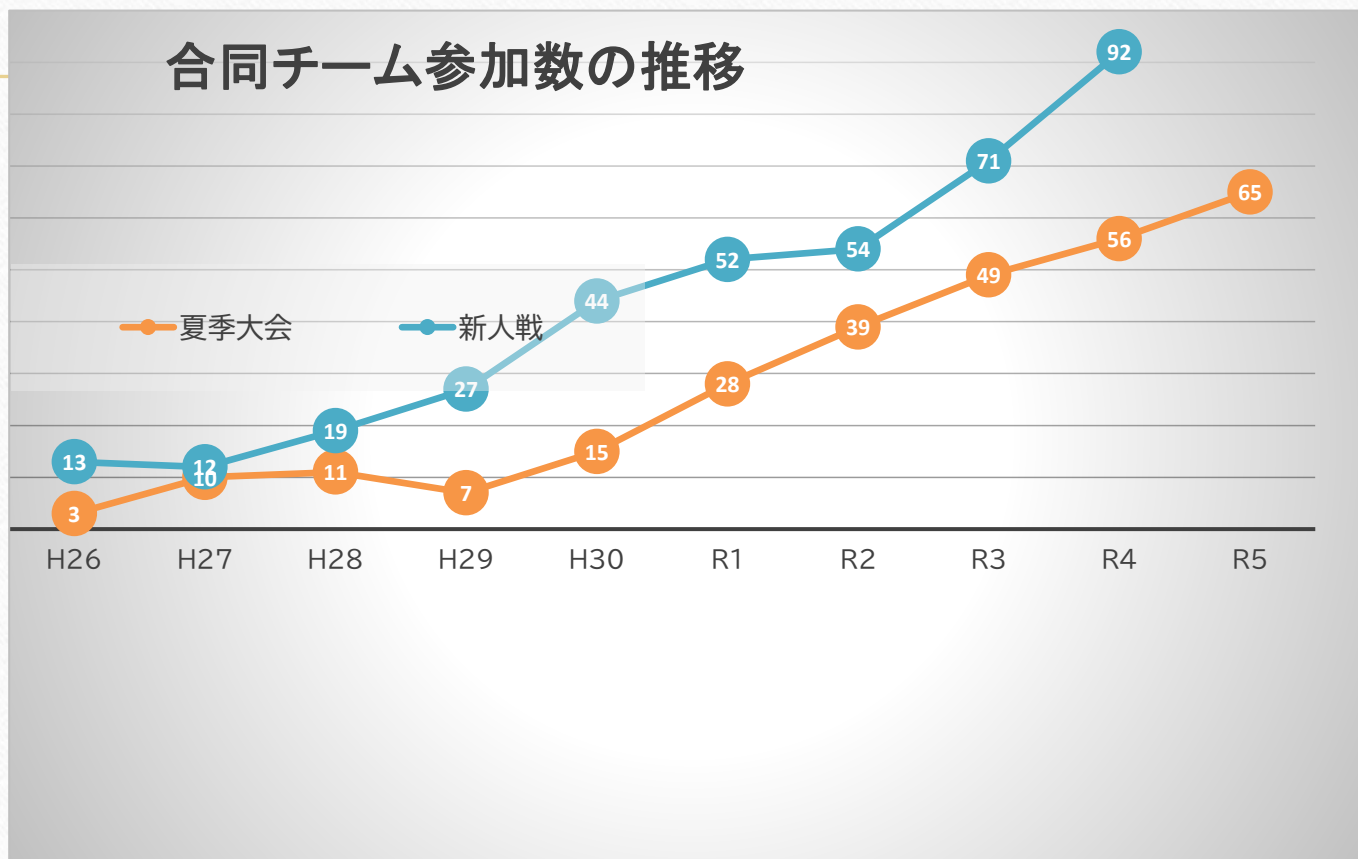
長野県内の中学校での合同チーム参加数の推移

合同チームによる中体連
の大会参加チーム数の推
移

夏季：H26年 3 チーム
R5年 65 チーム

新人：H26年 13 チーム
R4年 92 チーム

単独チームが成立せず合同チーム
の参加数が増加。学校数は150
校を超過



現状と課題

急速な少子化の進展

今後10年～15年で生徒数は、**約7割～8割に減少**
(推定値)

中体連の大会参加チーム数の推移 (増加傾向)

時間外勤務時間の削減

週50時間以上の勤務時間
小学校：64.5%
中学校：77.1%

※今後、更に**時間外勤務の制限が強くなる**可能性

専門外競技の指導

約6割が専門外または運動経験がない
職員が指導を担当

現行の指導体制や種目数を維持することが厳しい状況にある



学校部活動の地域クラブ活動への移行

4 長野県の中学部活動の地域移行の現状

(1) 実施事業

●協議会の開催 昨年度から3回開催

●実証事業の展開

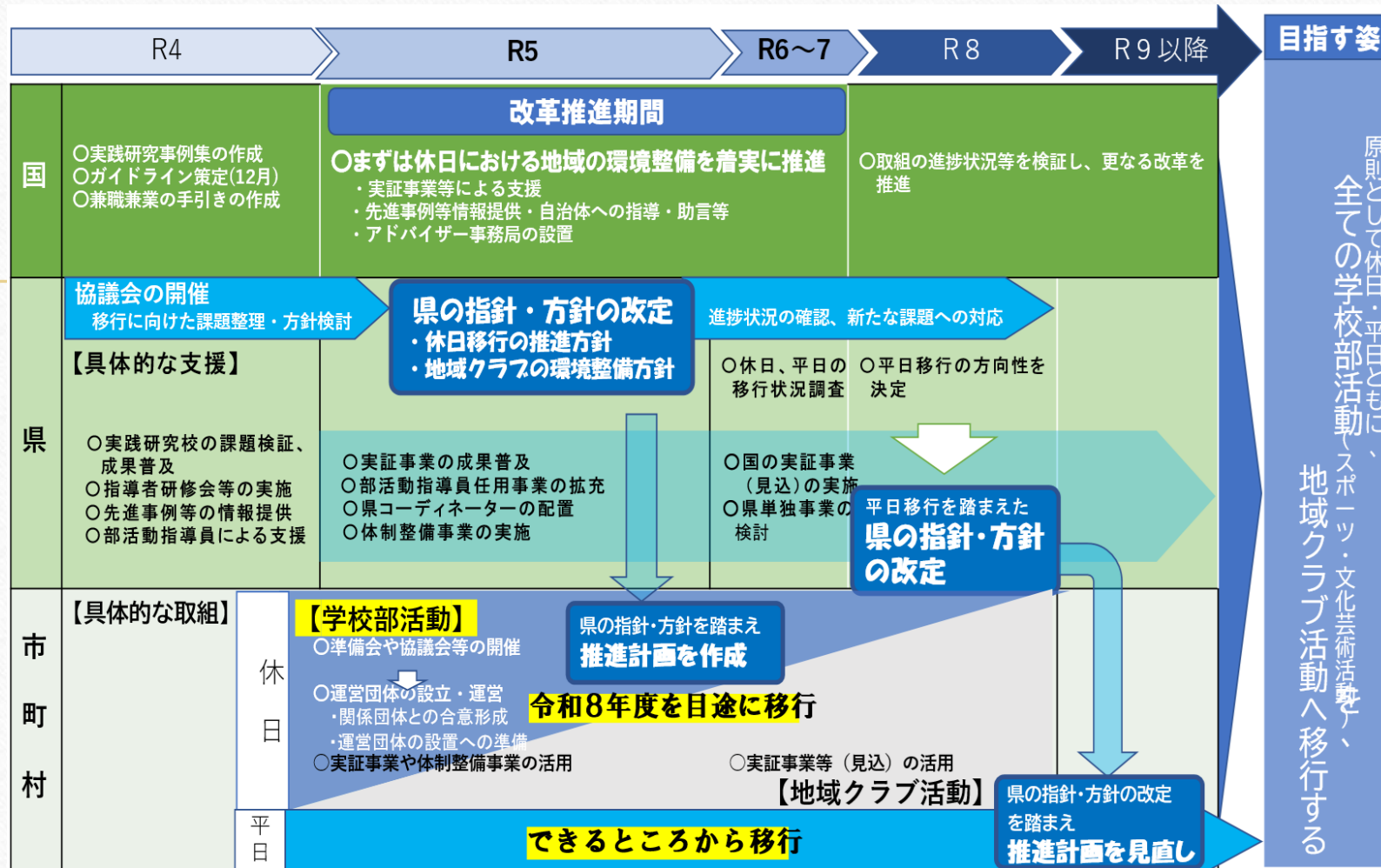
10地域

(16市町村)

長野市	飯島町	南佐久(佐久穂町)	麻績村	飯田市
CO配置、プロとの連携、マッチングアプリ活用	単独からの広域連携	CO配置、送迎支援、6町村広域連携	指導者確保	CO配置、全市型、指導者質の向上、
飯山市	塩尻市	須坂市	千曲市・坂城町	松本市
スポーツ少年団との連携	CO配置、公共交通・スクールバス、複数協議体験会	CO配置	CO配置、平日も含めた取組	CO配置、指導者資格取得補助

●指針、推進計画の策定(進行中) 他

(2) 地域クラブ活動への移行に向けた推進スケジュール (案)



(3)長野県の総合型地域SCと中学部活動の地域移行

中学部活動の受け入れ

受け入れている(13) 26%
受け入れを検討(19) 37%
受け入れる予定はない(19) 37%

回答者51

70クラ
ブ(うち
休止5
クラブ)

協議会等への参加

中学校の部活動の受け入れについて、現在、地域移行の検討委員会や協議会等に参加していますか

参加している(32) 59%

R5.10アンケート(速報提供)

(4)長野県で総合型地域SCが地域移行に関わる事例

安曇野総合型地域スポーツクラブ「スポネット常念」 長野県安曇野市

H20(2008)年設立

事務局:長野県安曇野市(堀金総合体育館内)

令和3年度から準備。堀金地域、堀金中学校区(1校のみ)で試行的取組(ス常の事務局も同地)、運営委員会(学校、市教委、地域指導者)開催。9月から月1回移行。

4年度は月2回、本年度は毎週。ス常などの実施主体に所属する「地域クラブ活動」として実施。

現在、【ス常】は、5クラブに関わる

①堀金:男子バスケ、②堀金・明科:ソフトテニス、③市全域:軟式野球、④&⑤明科:男女バスケ

5 長野県の中学部活動の地域移行の課題

主な課題

様々な観点から

運営団体

指導者

生徒・保護者

学校

その他全般

主な課題(1)

運営団体

- ①運営団体の確保
- ②人材(コーディネーターや事務職員)の確保
- ③事故等への対応やガバナンスの確保

指導者

- ①指導者の確保
(掘り起こし、開拓、育成)
- ②指導者の資質の担保
- ③兼職兼業の運用

主な課題(2)

生徒・保護者

- ①生徒・保護者の理解
- ②費用負担の軽減
- ③生徒の移動負担の軽減

学校

- ①平日の学校部活動と休日の地域クラブ活動の関連
- ②地域クラブ活動への教職員の関わり
- ③学校施設の開放・管理

主な課題(3)

その他全般

- ①持続可能な運営に向けた財源の確保
- ②トラブルや事故への対応

長野県の地理・地形的特徴

77市町村

市:19 町:23 村:35(日本一)

県土広範囲 全国4位

山間地多し:79%、全国2位(H24年度林野庁調査) / 中核となる市が近隣にない

6 まとめに代えて～総合型地域SCへの期待～

◆**当面・直面する課題を一つずつ、確実に解決し、子どもたちのスポーツ環境を少しでもよりよい方向に変えていこうというのが地域クラブ活動への移行のきな目的の一つ。**

地域クラブ活動の

- ① **協議会等**
- ② **運営団体**
- ③ **実施主体**

の唯一の、または主要メンバーとしての総合型地域スポーツクラブの果たす役割は大きいはず。自ら、積極的に地域クラブ活動への参画を期待したい。

◆**仲間拡大の機会**